

NPOワンポイントアドバイス!!

～中高生を交えた会議のコツ～

～研修・講座を上手に準備・運営するためのコツ その2～

前回は、資料作りと会場準備・後片付けのコツをお伝えしました。

そこで今回は、より集中して参加できるようにするために必要なことをお伝えします。

●使いやすい会場を選びつくるコツ

- 下見で、施設入口から会場、トイレ等のバリアフリー状況をチェックしましょう。
- 駐車場情報(使用時間帯の混み具合、料金、近隣の駐車場等)を確認しましょう。
- 託児サービス(場所があるか、人手の確保はできるか、料金等)を確認しましょう。
- 喫煙スペースへの経路や分煙ルール等を案内できるようにしましょう。
- 荷物、コートや傘などを置く場所を用意しましょう。
- 参加者が使用できる電源の有無(位置や機材までの長さはどうか)を確認しましょう。
- 実施日にある他のイベントや催しでの音量や混み具合を確認し、構成調整しましょう。
- 定員より少し広めの部屋を、時間に余裕をもって確保しましょう
- 会場での出入りが、参加者の集中を妨げないような配慮をしましょう。

●緊急時にあわてないためのコツ

- 参加者には事務局(主催者)の連絡先を複数(電話、メール、携帯等)伝えましょう。
- 避難経路や誘導の際の規則等を確認し、当日開始前に参加者に伝えましょう。

●休憩時間的有效に活用するコツ

- お茶コーナーを設置しましょう。会場後方の窓際などが邪魔になりません。また、茶菓は、可能ならば参加者に持ち寄ってもらうと交流促進になります。手が汚れず粉がこぼれたりしない、個別包装のチョコレートや飴がお薦めです。(ただし、会場によっては飲食の条件が違うので必ず施設側と相談してください)
- 資料配布や、販売が可能な場合は物販コーナーがあるとアピール度が高くなります。

参考:『NPOマネジメント 59号』IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]発行



センター長のつぶやき

まちづくりセンター センター長 丸藤 競

まちづくりセンターでは、今年のスタッフの合言葉を「本寸法でいこう!」としました。「本寸法」とは、「お手本となるような立ち振る舞い」というような意味で、落語家がよく使います。

まちづくりセンターがオープンしてこの3月でまる8年が経ちました。様々なかたからご指導やご協力をいただきながら、なんとかやってきたというのが正直な思いです。

支援センターとして持つべき力である、「相談対応力」「調査・情報収集力」「情報発信力」「コーディネート・ネットワーク力」

「資源提供力」「内部の人材育成力」「政策提言力」「2歩先の視野を持ち、一歩先のプログラムをたてられる力」等々、まだ学んでいかなくてはならないことばかりです。

だからこそ、これまで大切にしてきた「学ぶ姿勢」や「居心地の良さ」「利用者の皆様に対しての対応」に関しては、「本寸法だね」と言われるようにしていきたいと思います。

できるだけ多くの皆様に気持ちよく使っていただけるよう、これから先も利用者の皆様と一緒に同じ気持ちでまちづくりセンターをより良い施設へとつくり続けていきたいと思います。

今後とも、よろしくお願ひいたします。